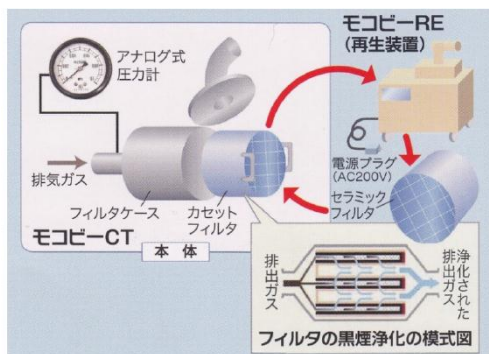


バスの排気ガスを削減し、モンゴルの大気汚染軽減に貢献

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社コモテック(埼玉県春日部市、小森正憲代表取締役)が提案する「ウランバートル市のディーゼル路線バスのDPF(黒煙除去フィルタ)による黒煙低減案件化調査」(モンゴル国)を採択しました。

モンゴルでは近年経済が急激に成長し、首都ウランバートル市への人口集中が進んでいますが、市内公共交通のほとんどがディーゼルバスに依存しており、さらに、排気ガスを規制する法律がないことから市内の大気汚染が深刻化しています。

株式会社コモテックが提案するカセット式黒煙除去装置「モコビー」は、バスの車体に直接接続しフィルタを通して排気することで黒煙を99.9%、PM(粒子状物質)を90%以上除去する機材で、カセット式としては日本で唯一の製品です。2003年に開始された首都圏のディーゼル車規制では、ほぼ100%の消防車にモコビーが採用されました。



モコビーの仕組み



モコビーを実際に搭載したバス

本調査では、実際にウランバートル市で走行しているバスにモコビーを取り付け、排気ガスの排出量変化や大気に関するデータを夏と冬に分けて収集しウランバートル市での導入可能性を検討する他、現地生産に向けた委託先調査等を実施します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース) 案件化調査2014年度補正予算/2015年度第1回公示の採択結果について

URL : http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 野村 (案件担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp